

協 同

〔特集〕 活力ある職場づくりを目指して

～ワーク・エンゲイジメントの活用～

〔お知らせ〕 「協同」読者アンケート実施中

2022
November
KYODO

11



兵庫の農業人
Hyogo-nougyoujin

タッグ! 兵庫の農業人

全国有数のレタス産地で、
高品質なレタス栽培に取り組む

Farmer × JA staff
真野 智之さん
齋田 竜伍さん
詳細は
裏表紙へ

兵庫の農業人

生産者の皆さんとタッグを組んだ
多様な営農活動を紹介します。

タッグの様子は動画でも配信中心! ▶

YouTubeで 兵庫の農業・農協発信ch 検索



今月は JAあわじ島

全国有数のレタス産地で、 高品質なレタス栽培に取り組む

レタスの生育状況について話す真野さん(左)と齋田さん



生産者

府中21農業経営者研究クラブ
会長
Farm真野 代表
真野 智之さん

就農してまだ1年半ですが、周りの生産者や齋田さんから様々なことを吸収しながら日々頑張っています。今後も淡路島ブランドを守っていくため、府中21農業経営者研究クラブの会長として、様々なことに挑戦し、新しい風を吹かしたいです!



JA職員

JAあわじ島
榎列支所榎列経済センター
営農主任
齋田 竜伍さん

天候に左右されず、生産者が安定的に生産できるよう日々営農指導に取り組んでいます。また、新たな栽培方法の研究やたまねぎ、レタスに次ぐ主要品目の栽培研究にも尽力し、生産者と一緒に、JAあわじ島の農業を盛り上げていきます!



淡路島南部は、温暖な気候と排水がよい肥沃な土壌を活かした全国有数のレタス産地として有名である。兵庫県のレタス生産量のうち約9割がJAあわじ島の管内で生産されている。

南あわじ市榎列小榎列地区の真野智之さんは、昨年就農し、現在は両親と妻の4人で、ラプトル、JプレスA、ベルデ7、ビブレの4品種のレタスやたまねぎ、キャベツなどの露地野菜を栽培している。また、小榎列地区の生産者16名で構成される「府中21農業経営者研究クラブ」の会長も務め、地区単位で機械を共同購入し、定植・収穫作業を助け合いながら行っている。真野さんは、「就農してまだ日が浅いが、積極的に新しい品種の栽培や土作りに力を入れ、高品質のレタスを栽培するため、同クラブやJAから日々様々なことを吸収している。また、会長として新しい風を吹かしたい」と話す。

真野さんが生産する品種や農薬を選ぶ上で信頼しているのは、JAあわじ島榎列支所榎列経済センターで営農主任の齋田竜伍さんである。レタス栽培は、気候に合わせた品種選定が重要で、栽培する品種によって生育特性や耐病性が異なるため、農薬の選定や散布量、タイミングを計る必要がある。そのため、齋田さんは同クラ

ブと協力し、農薬の説明会や栽培講習会を開催している。また、2か月に1度の定例会を開催し、気候に合わせた農薬の提案や、定期的に生育状況を確認し営農指導や情報交換を行っている。

JAあわじ島は、正確な収穫日を診断し、高品質なレタスを出荷するため、兵庫県とともにレタスの収穫適正日を予測するスマートフォンアプリを開発し、令和5年の実用化に向け多くの栽培試験を行っている。またYouTubeやメールマガジンを活用し、新品種や農薬の説明など栽培管理全般に関する情報発信をリアルタイムで行うなど、SNSの活用にも積極的である。

同JAは、全国有数のレタス産地として、今後も高品質なレタスを栽培するため、営農指導や栽培講習会を基本に、SNSを積極的に活用した取組みを進める。

JAあわじ島のレタス栽培に関する取組み

JAあわじ島は、**営農指導**や
府中21農業経営者研究クラブと協力し
栽培講習会を開催する等、
高品質なレタス栽培に向け取り組む。